

成功はグラデーション

今日のテーマは、
「成功はグラデーション」
というテーマで話していきます。

こういう質問をいただきました。

魅力的と思われる男女は生まれ持った
天性のもので、自然に振舞える人が
大半である半面、

その方法を人に教えて再現できるかどうかは、
別の問題というのは私を含めて多くの人が
身を持って感じているところではないでしょうか？

私もそうですがそういう劣等生的なハンデを
持つ人間が完全に一人というか、

自分の力だけで実践することは困難極まりなく不可能にさえ思えます。

自己努力の限界というのでしょうか？
こう考えてしまうのは変な事でしょうか？

という事なんですけど。カメさんの的に変ですか？

カメ 「いやでもなんか分かるなというか。
僕、師匠から色々教わってるけど
師匠は別世界の人なんじゃないかなとか
そんなことをちょっと思って、自信を
無くしてしまうというのは分かりますね」

劣等生やなカメさんは
100教えても1も出来ないもんね。

カメ 「そうですね」

そういうレベルだからじゃない？と思うけど、
僕で別次元だったらもっと出来る人達は
なんなの？って話になってくるし。

と言いつつ、
同じように思う人も多いんじゃないかな？
っていうのがあって取り上げたんですけど。

これって何一つ自分の力で成し遂げたことが
ない人がみんな思う事だと思うんですよ。

カメさんもそうですけど、
色んなものを始めては
全部中途半端で諦めてしまって、

1つもカタチになったことがないから
「無理じゃね？」って感じると思うんですよ。

まず言えることは「達成する前」ってのは
人間の誰しものが不安なんですよ。

僕も同じように不安を感じますよ。いまだにね。

例えば、女性関係どうのこうのっていうのはある程度、一区切りついたんですけど、達成したら次の段階を目指すわけですよ。

仕事などのカテゴリーでチャレンジをしていく。

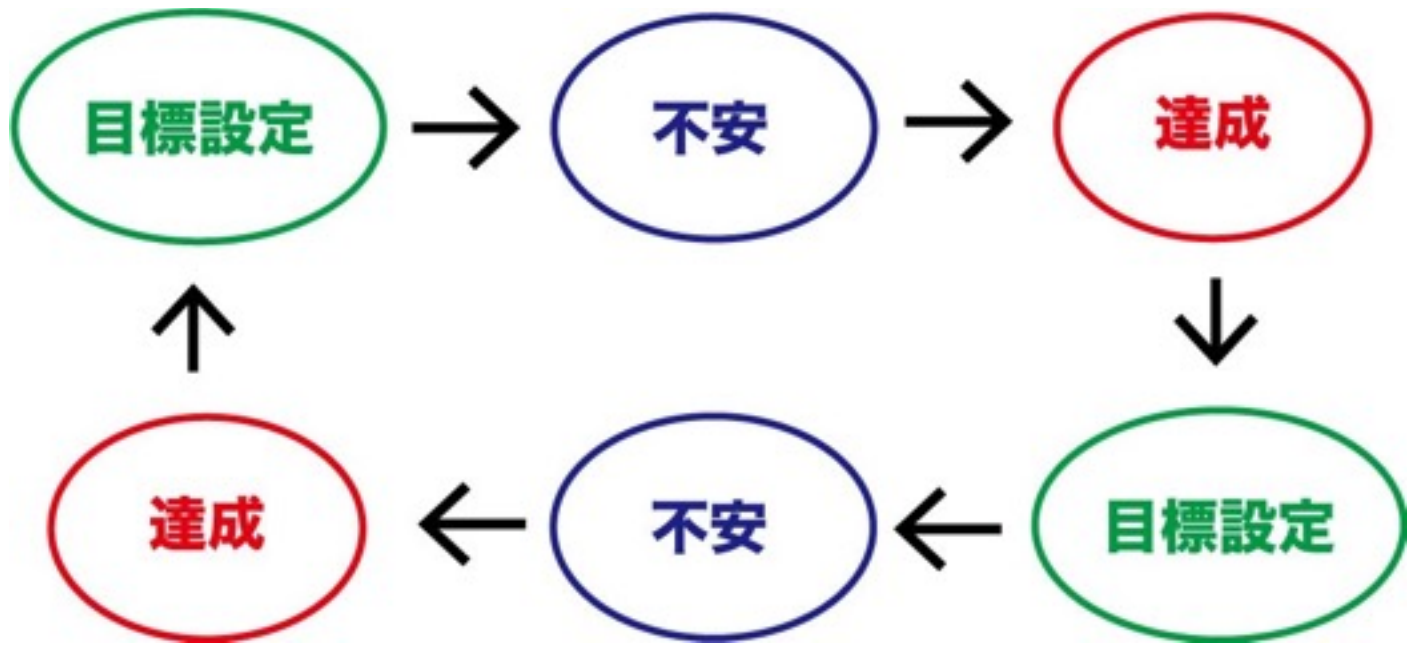
チャレンジすれば、

「次も目標を達成できるのかな？」

っていうのは不安になる。

当たり前だけど、人間は前向きに生きていたらチャレンジして、チャレンジを重ねて生きていく。

当時の僕自身であれば女性関係だったりとか仕事で自立をする、っていうのはチャレンジだったわけですよ。



《”不安は繰り返す”の図》

「不安⇒達成」を経験しているから

「不安なのは当たり前なんだ」

っていうのは体感として分かってるんですけど、

今までの人生で何も成し遂げたことない人って言うのは

「こんな不安なのは俺だけなんじゃないかな？」

みたいな風を感じると思うんですね。

自分の力で「何らかの分野で成功する」
「何かを成し遂げる」「何かで成果を出す」
ってというのが一個も体感したことないから
イメージできないので余計に不安になる。

だから、不安で

「俺には最初から無理じゃないか」
みたいな風に思うんですよ。

「0から1」であろうと
「100から101」であろうと
不安なんですよ。

新しい目標を達成する、チャレンジする、
というのは、目標の大なり小なりに関わらず

**「今の段階では自分自身が体感したことが
一度も無い未知のものに挑む」**

わけだからね。

その時に考えて欲しいっていうのが、

「成功はグラデーション」

ってことで話してるんですけど。

グラデーションだから「黒」か「白」

じゃないんですよ。

不安な人って、自分が黒だとしたら、

「白の完成系」だけを見てるんですよ。

あなたが目指す成功の状態を達成している

「成功者のスタート時点」をみて欲しいんです。

誰もが「ゼロ」から始めてるんです。

生まれてから、めっちゃマッチョで

世界チャンピオンくらい格闘技が強くて、

ハーバードに首席くらい頭が良くて、

医学部の試験余裕で通って、

ビジネスでもビルゲイツくらい
ビジネススキルあってという人は
世界中探しても誰もいないんだよね。



《イチローと大谷翔平》

例えば、野球で言えば、成功者といえ
大谷翔平とかイチローとかがいるけど、

彼らだってプロになるまでに
軽く10年以上のキャリアがあるわけだよね。

しかも、それを朝から晩まで、ずっと練習してる。

「20歳くらいで成功してスゲー！
才能が違うんだな」

とかって評価される前に、常人の何倍、何十倍も
ゼロから努力しているわけだよ。



《藤井聡太と羽生善治》

将棋で言えば、藤井聡太君、羽生さんも20歳で名人とかになってるけど、あの人達も3歳とか5歳からやってたんだから。

キャリアも軽く10年以上はあるわけだよね。将棋も毎日毎日朝から晩までやったりとかしてるわけじゃん。

1万時間の法則

勉強時間	1万時間を達成するためにかかる期間
毎日1時間ずつ	約27年5か月
毎日2時間ずつ	約13年9か月
毎日3時間ずつ	約9年2か月
週末に 1日2時間ずつ	約48年4か月
週末に 1日8時間ずつ	約12年1か月
平日2時間& 週末8時間ずつ	約7年6か月

よく一流になるには「1万時間の法則」とかいうけど、もう軽く越えてるんだよね。

元々、才能のある人ですら「ゼロ」から始めて才能ってものを輝かせるために、凡人以上に努力をしているんだよ。

イチローですらWBCという野球の世界大会で全然打てないプレッシャーで「胃潰瘍」になって血を吐いたりしてたらしいしね。

その時点で、日本のプロだと首位打者に何回もなあって、アメリカのメジャーリーグでも活躍しててだよ。

世界トップレベルの選手でも不安、プレッシャーに押しつぶされそうになりながら戦っている。

映画スターのチャップリンっていますが、

彼も世界的なスターですが、



《チャーリー・チャップリン》

映画スターなのに人前で話すのが苦手で

悩み抜いて「人を動かす」で有名なデールカーネギーの講習を受けて克服しようとしたんだよ。

デールカーネギーの本に書いてあったんだけど世界的なスターなのに人前で緊張して上手に話せないって悩んでいて、カーネギーの講義を受けに来るわけだよ。

緊張で話せなくて困ってたわけだよ。

で、

最初にカーネギーの講義で

「人前で話してください」って緊張して「あああああ」言葉が出ないみたいな。

それで、ちゃんとトレーニングして人前で話せるようになったんだよね。

世界レベルの心の強さをもったりとか

才能がある人ですら不安になったり、
緊張したりするわけなんだから、
凡人の僕らが「不安」なのって当たり前だよ。

「最初から出来ない」のも当たり前なんですよ。

そういう現実をまず知って欲しい。

大事なのは、成功している人がいた時に
「今の成功した状態」を見たって
人生が上手くいっているのは当たり前なんだよ。

何十年とかやってんだからさ。

その人が「ゼロのスタート時点」では
何から始めたんだろう？

「どういう精神状態だったんだろう？」

「どういう最初の一歩を歩んだんだろう？」

といったことを見て欲しいんだよね。

不安がって他人の才能を妬んだり、
諦めの理由に使う人は、みんな

**「今の100の状態を見たって、
いきなり同じように出来るわけがない」**

というのを理解して欲しい。

**学習計画、成功する計画を明確に立てて、
黙々とやり続けるしかないわけだよ。**

「モテる・モテない」

「仕事で成功する・失敗する」

「モテない人」っていうのは、例えば、
学校時代のクラスが分かりやすいと思うんだよ。

ヒエラルキーっていうか
階層がはっきりしてるじゃん。

「モテるモテない」
「魅力があるか魅力を持ってない」
とかっていうのは。

一匹狼的な人以外は、
ほとんどそうだと思うんだよね。

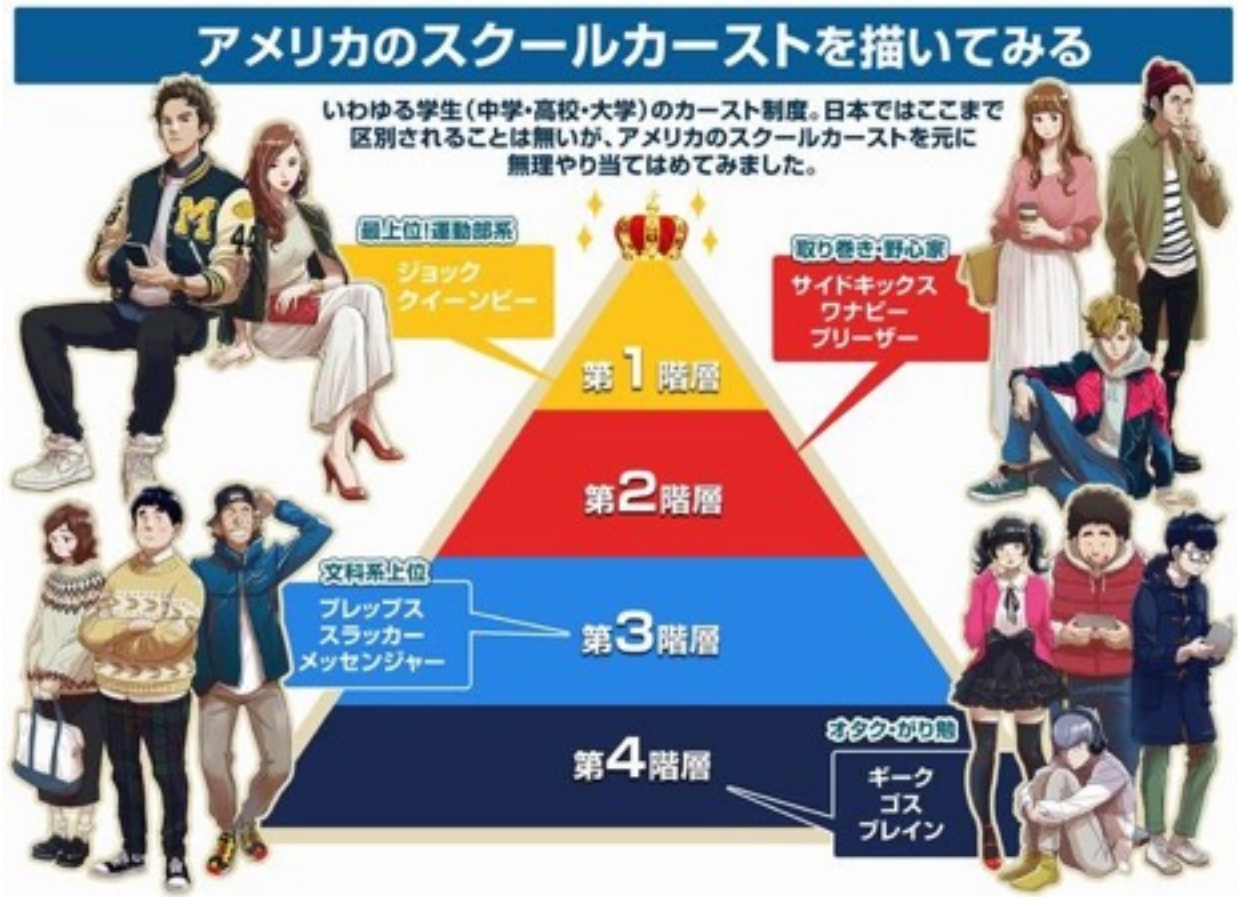
「異性的な魅力のないグループ」
「普通の真面目そうなグループ」
「モテるイケイケなグループ」

みたいな。

このグループ分けの基準は、
「運動神経が良い」とか、
「ルックスが良い」とか、
「性格が社交的で明るい」とか、

なんかそういうので勝手に決まる。

勉強はあまり関係ないケースが多いね。



《スクールカースト》

引用 : <https://marog01.com/school-caste/>

逆に、じゃあそんな時に

「そういう要素がない人」

って性格が暗くなりやすかったり、

自信を無くしやすいつつだけだと思っんですよね。

これってのは面白いもんで、

「そのコミュニティの価値観」

で階層が決まりやすいと思っんだよね。

例えば、勉強できるっつだけが無全なステータスであれば勉強できる人が優秀だしモテるよね。

例えば、お笑いの学校に行ったとしたら面白いとか、人気ある人、が一番ステータス上で面白くない奴はどんなイケメンであろうとステータス下だよね。

カメ「そうですね」

そういう感じだよね。

それはあくまでも「集団の価値観」とか
そういうところで決まるわけだよ。

※価値観とは

「何に価値を置いて重要視するのか」
という意味です。

そのためにはやっぱり結局のところ、
自分が求めるものがあるんなら、

「生まれもった才能」とかどうのこうのじゃなくて、
「成功するための計画・プラン」を立てて、
黙々とやり続けるしかないわけだよ。

**幼少期、学校時代に出来上がった過去を
今から変えることは出来ないじゃん。**

過去は変えれないんだから。

「変えられるのは未来だけ」 だよな。

未来って何かって時に

「現実・今」を黙々と次の「新しい未来」を作っていくためにやり続けるしかない。

僕の話聞いてるわけだから、

「女性にモテたい」とか、
「魅力的な男になりたい」とか、
「会話上手になりたい」とか、

「モテモテの人気者になりたい」とか、

そういうのがメインの欲望だと思うんですけど、
そのために毎日のように黙々とやるべき必要な
ことをやるしかないですよ。

だから、

「貧乏とかモテない時期を楽しめ」とか、
「プロセスを楽しめる人しか成功できない」
と言ってるわけですよ。

「上手くいかない人」って何もやってない。
行動量が少ない。

とか、ウジウジ考えすぎて何もしない、
行動しないってのが現実が変わらない原因だから。

行動したら、何らかの結果が出るわけだから
少しずつ上手くいくわけだよ。

※行動したら「上手くいくパターン」
「失敗するパターン」を結果として体験して、
経験値として蓄積していけるので
パターン理解さえできれば結果が出ていく
という意味です。

女性関係であれば
「セックスが出来るかどうか」
ってのがまず一つの目標だと思うんですよね。

最初の段階としてはね。

そのあとに、あなた好みの女性と遊んだり。
デートできるとか。

あなたが好きになった女性を惚れさせたり、
良い関係築けるか、っていう風に
ステップアップしていくと思うんだけど。

カメさんでも普通にセックスしたりは
できるわけじゃん。

カメ 「はい」

それは行動したからこそ出来たわけだよね。

カメ 「行動すれば出来ますね」

行動しなかったら出来ないわけじゃん。

カメ 「はい」

めっちゃ単純な話で、
これぐらい結構シンプルというか、
すごく簡単なジャンルなんだよ。

この恋愛とかナンパというジャンルは、
他のジャンルに比べたら結果を出すのは
非常に楽。

**「セックスをする相手を作る」「彼女を作る」
という話であれば特にね。**

その相手ってのも
「あなた好みのルックス」だったり
「普通に性格の良い子」とかも
数当たれば絶対当たるわけだよ。

めっちゃ簡単な話を言えばね。

難しく考えすぎなんだよね。

※ここでいう「数を当てる」というのは、
「経験を積みながら、コミュニケーション能力
魅力的な人格形成、などをしている前提」
の話です。ただ出会いの数を増やしても、
現状のあなたを受け入れてくれる女性だけ
になります。

なんで難しく考えてしまうかというと、
「怖い」とか「不安」とか
「上手くいく気がしない」とか
のネガティブな感情に負けて、

自分でブロックしちゃったり、
自分の才能に対して自分で壁を作っちゃっ
ってというのが生徒さんとかを見てて思うかな。

※「恐怖」や「不安」に心が負けると、
「できない理由」を自分から考え出して、
行動しないように自己説得を始めます

学習して成果を出すには「脳が働くかどうか」
ってのがすごく大事で

「機能ネットワーク」

って呼ばれる機能があるんですけど。

用語を覚える必要はないんですけどね。

例えば、泳ぐ、日本語を書く、
パソコンのタイピングをする、野球をする、歩く、
ゲームをする、といった無意識にできるのは
全部、脳にプログラムが保存されてる訳だよ。

カメさんは自転車に乗れる？

カメ「はい」

なんか考えながら自転車に乗る？

カメ「いや、何も考えずに乗ってます」

例えば、パソコンのタイピングもそうだけど、昔は遅かったけど、

「タイピングソフトで練習やんな！」

って言って、実際にやって早くなったでしょ？

カメ「はい、手元を見ずにブラインドタッチもできるようになりました」

それは脳が覚えているわけだよ。

カメ「そうですね」

これはシンプルだから、
分かりやすいってのもあるんだけど。

シンプルであろうとなんだろうと
脳は望むものを手にいれる行動手順を
覚えてるわけ。

人とのコミュニケーションのやり方、
女性を口説く、って時も一緒に、

「必要なプログラムを脳に覚えさせる」

ってだけなんだよ。

例えば、ギターを弾いた時に

「脳」ってどういう反応をするのかっていうと

目の「視神経」からギターを見るわけだよね。

そこから「一次視覚野」ってところに
情報が運ばれるわけだよ。

それと同時に今度は「運動皮質」っていうところで指令を出して指を動かす。

今度は「聴覚皮質」を使って、
耳で音の情報処理をして、

「側頭葉」と「頭頂葉」の「連合野」
っていうところに信号を伝える。

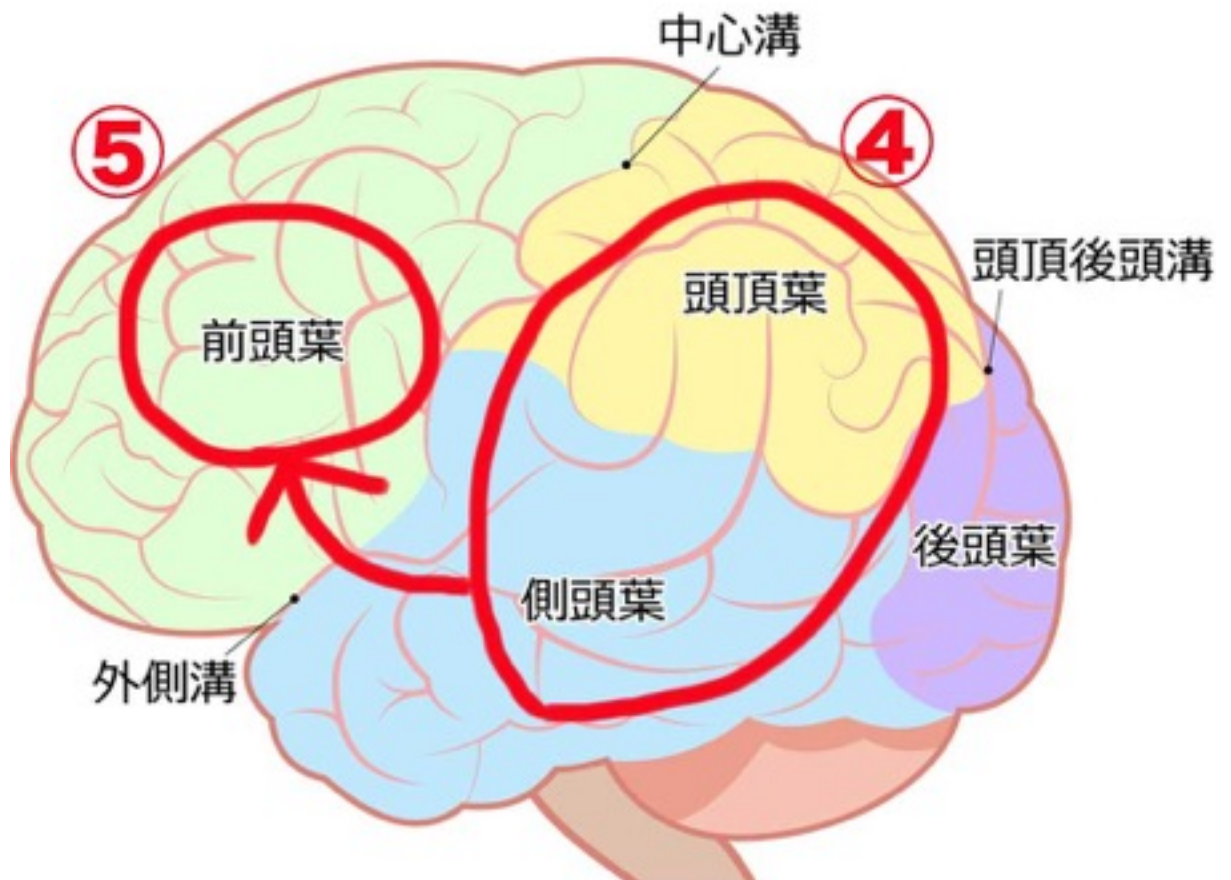
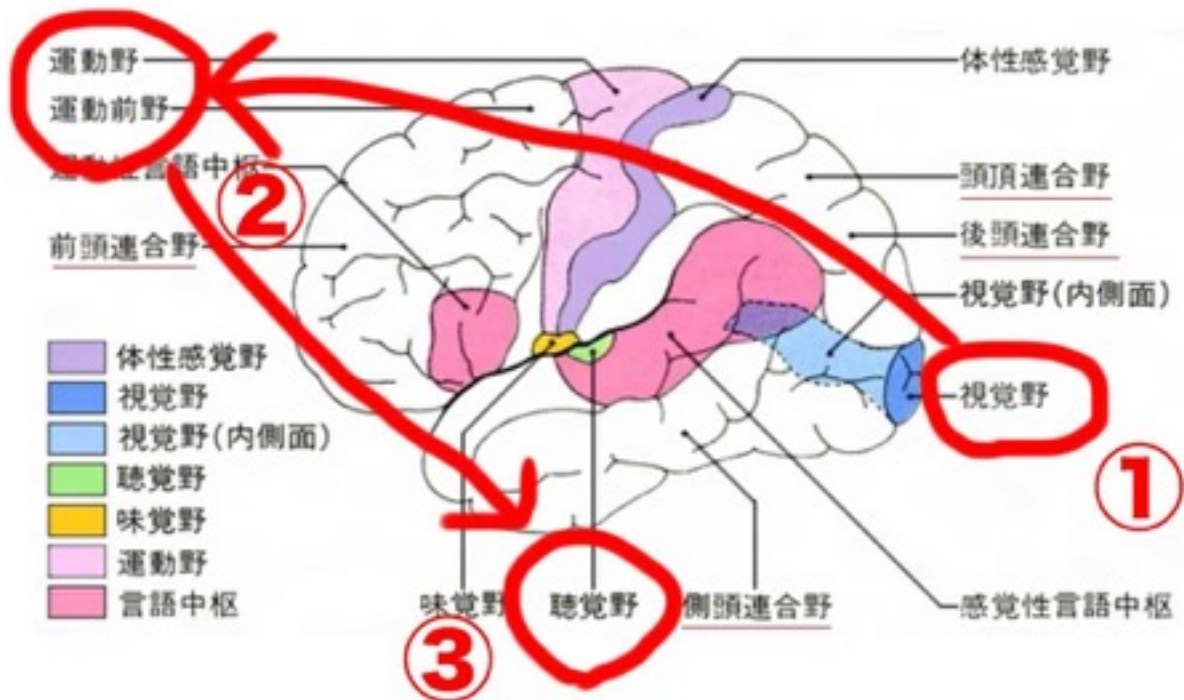
信号が最後に届くのが
意識と高次の機能を司る
「前頭葉」ってところ。

こういう風に一つの行動だけで
すごくたくさんプロセスがあるわけ。

ここで音のキーが違ふとか、音程が違ふとか
って風になれば弾き直したりするわけだよ

曲を何度も何度も弾いて脳に覚えさせていくと、

プログラムをスムーズに起動させることができるようになるんだよね。



《脳の場所とネットワーク順序のイメージ》

例えば、ミュージシャンであれば
いきなりセッションしたり、
自分がいつも弾いている曲であれば
飲みながらでも無意識で弾けると思うんだよね。

それは「脳」が覚えてるわけさ。

**何度も脳に情報を送って、
一定の行動をインストールしたら、
スムーズに情報処理出来るようになってくる。**

他の事を考えながらでも、
無意識レベルでできるようになる訳だよ。

完璧にプログラムされた情報ならね。

例えば、街中で女性に声をかけます、
というタイミングで、初めてのときって

緊張してテンパって頭が真っ白になって働かないじゃん。

カメ「はい」

わー、どうしようみたいなの。

カメ「そうですね」

声かけも慣れたら、女の子と喋りながらでも「次はどうしようかな？」とかデートの展開を考えながらでも出来るようになる。

「女性がこういうふうにしてくるから、
こういうふうな会話を展開していこう」

って感じのことを考えながらでもトークをできるようにする。

「あそこの店に連れ出そう」とか

「喋りながら女性の反応を見る」
なども同時に出来るわけだよ。

こうやって全ての部品がキチンと繋がった
一つのコンピューターとして
完成するわけだよ。



**全てのパーツが連動することで
パフォーマンスを発揮する**



こうやって成功するための脳を作っていくだけなんだよ。

例えば野球で言えば、イチローとか大谷翔平とか優れた選手ってのは、上達するためのトレーニングの経験を「最適化」して「ベストな情報処理」が出来る脳みそを作ってるってだけなんだよ。

産まれた時の、脳みその出来不出来なんて、人間であれば大して変わらないわけ。

脳みそってどれくらいの大きさか知ってる？

カメ「メロンパンくらいですかね？分からない」

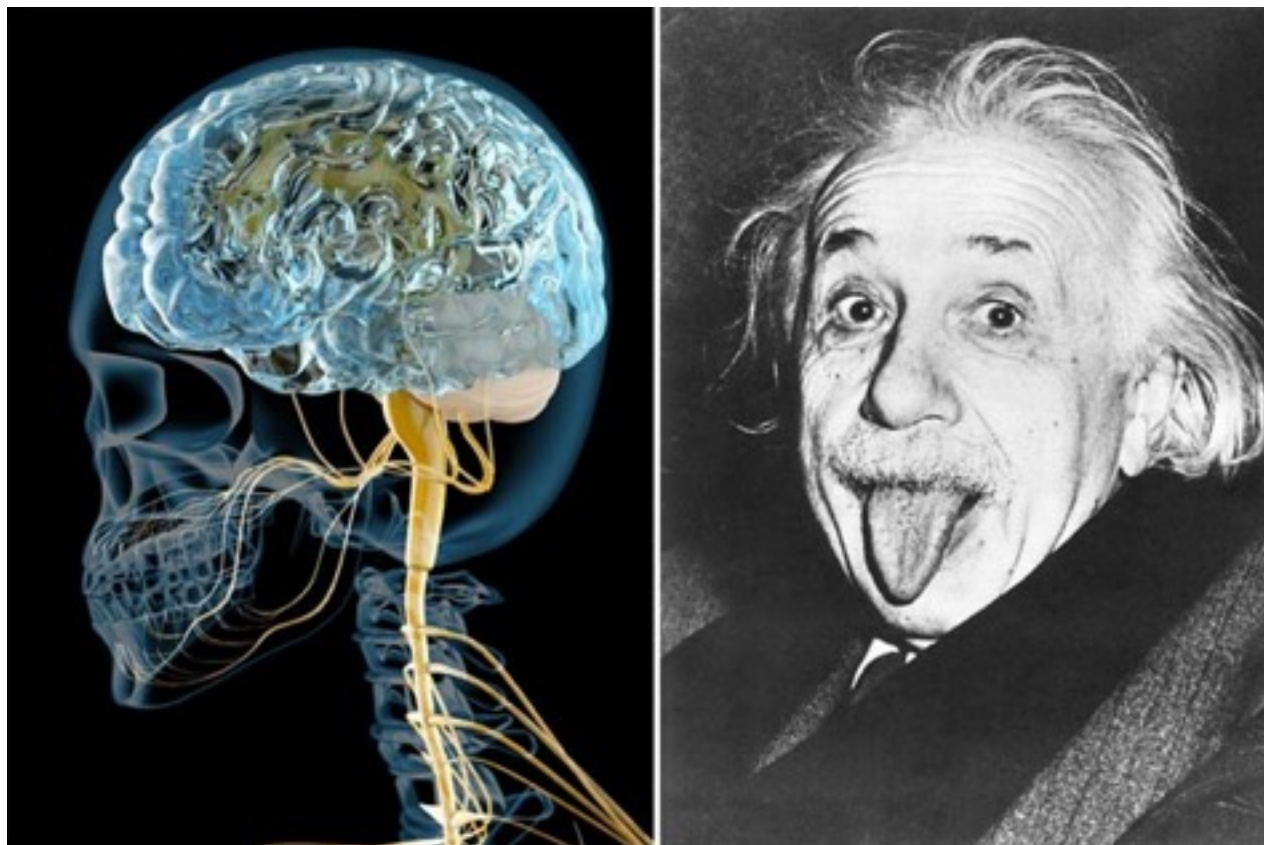
大体の大きさとして「こぶし2つ分」って言われてるんだよ。

カメ「けっこう小さい」

けっこう小さいけど、
カロリーはすごい消費するんだけど。

脳の重さは1,2キロ～1.5キロ程度なのに、
大人だと1日の摂取カロリーのうちの
2～3割は脳が消費する。

※1日に通常2000カロリーを摂取する人なら、
400カロリーから600カロリーを消費すると
言われています。



アインシュタインの脳でも普通の人と同じか、それよりも小っちゃかったんじゃないかって言われてる。

機能的に優れている脳っていうのは脳細胞が多いんじゃないくて、ちゃんと「**連携**」が取れている脳なんだよね。

それで「情報の認知能力」だったりとか「判断力」とかの差になってくるわけさ。

脳の連携が上手くいくほどに、

- 記憶力が高まる
- 集中力が高まる
- 自制心が高くなる

といったメリットがあるんです。

ナンパでも、恋愛でも、仕事でも、上手くいっていないと短期的な欲望にすぐ流されちゃったり、面倒臭くなって「もういいや」って怠けちゃったりとかね。

集中力が少なかったり、意思が弱いと、アルコール、スマホ、ゲーム、オナニー、とかに依存しちゃう。

その差ってのは

「毎日の生活習慣の差」

なんだよね。

生活習慣っていうと、寝るとか食るとか運動するとか、もちろんそういうのもそうなんだけど。

コミュニケーションも習慣と言えるもので

「どれだけ毎日女性とコミュニケーションを

取ってるか」

とかね。

男でも、女性でもそうなんだけど、
「どれだけコミュニケーションを
普段から人間と取っているのか？」
ということ。

営業やってる人が、それなりにモテるとか
言われるのは毎日喋ってるわけだから。

毎日他人と話す環境にいたら、それなりに
喋れるようになるよね。

営業マンできちんと仕事できていれば、
感じ悪い接し方はしないとか、
っていう要因などの影響だろうね。

女性と毎日話してれば、それなりに

会話は上手くなってくるよねっていうのが
「毎日の生活習慣の差」ってこと。

※毎日コミュニケーションを取る習慣さえ
持っていれば、あとは「向上心」をもとに
「質の向上」さえ伴えばスキルは伸びていきます

**※モテたいなら「モテる会話」をプログラムして
インストールしないと結果は伴いません。
毎日トレーニングしても「モテない会話」を
インストールしてしまえば逆効果です。**

何百人って相手をコンサルして気づいたのは、
みんな「自分に自信がない」から
自分で限界を決めちゃってるんだよね。

「俺には出来ないんだ」っていうふうに。

自分に自信のなくて「俺にはできない」と
思っている人を「できる人が客観的に見る」と

「やればできるのに
できないと思い込んでいるだけ」

だという風に見えるんです。

可愛い彼女を作るとか、
ナンパで成果を出すくらい、
絶対に出来るんですよ。

「ノウハウ」とか「メソッド」とか「法則」とか
ってという言葉が、成功する知識を学ぶ際に、
頻繁に使われているけど。

これらは「パターン」だよな。

「上手くいくパターン」
っていうのをちゃんと身につけて、
「上手くいかないパターン」
を捨てていけば、

上手くいくんだよね、それなりには。

もちろん、才能とかによって、

**10を学んで100とか1000できる人もいれば、
10学んで10しかできない人もいる。**

でも、

**冷静に考えてみて欲しいんだけど、
才能がなくても10できるんだよ。**

もちろん向き不向きこそあれど、
やればそれなりに成果でるんだから。

全然、才能がなくて向いていなくたって、
女性関係であれば

「自分の好みの女の子が1人できれば

それでいいじゃん」

遊んでるときでも、3人、5人くらい、
彼女とかセフレいれば十分じゃん。

このくらいなら誰でも出来ると思うんだよね。

もちろん、
芸能人レベルでモテるとかは無理だよ。

ジャニーズでいえば、タッキーみたいに
モテるかって言えばモテないよ。

僕だって彼みたいにモテないよ。

タッキーと一緒に合コン行ったら、
僕は全く相手にされないだろうね(笑)

みんなタッキーに惹きつけられて、
彼のところに行くよ。



《滝沢秀明》

アイドルみたいになれないのは仕方ないけど、
それなりのレベルにはいけるわけだよ。

人間は、生存本能だけで
変化しないように言い訳を自ら考えちゃって
自分にブロックをかけるわけだよ。

新しいところに行くチャレンジを

大体の人が避けるのは危険でリスクがあるからだね。

「新しい未知の場所に行く = 死ぬ確率が高い」

ってというのが、生き物としての本能だから。

結局、僕らが理解すべきポイントは

「出来る出来ない」というときに

「不安」を感じるのは当たり前ってこと。

「モテるプログラム」に変えていくってことが出来ればいいだけの話。

① **脳に必要な情報をプログラム**



② **必要なマインド戦略、テクニックなどをインストール**



③ **望む結果を手に入れる**



※学んだ理論、ノウハウを、トレーニングして
脳に染み込ませていきます。その状態で
行動をしたら望む成果が出るという話です。

※「プログラム内容が間違っている」
「上手くインストールできない」
と当然のように間違った結果が出てしまいます。

例えば「モテるモテない」ってだけではなく、
「仕事ができる出来ない」「稼げる稼げない」
とかってのも大事だよ生きてく上でね。

金はそんなに必要ないって言っても、
「ある程度は持っていないと
色んなチャンスが減ってくる」
からね。

仕事ができる出来ないとか、
モテるモテないも全部のジャンルにおいて、

**「脳を進化させて、望む結果に対して、
柔軟に適応させる能力」**

ってのは人間の脳には必ずあるんだよ。

**「女性にモテる方法」とか
「女性に好かれる方法」とか
「コミュニケーション術」とか、**

**これらを今まで先生とか、友人とか、兄弟とか、
親とか、に教わってきていないと思う。**

そもそもモテる人が周りに1人も
いなかったりとかね。

カメさんの周りにはいた？
めっちゃモテる友達とか？

カメ 「いなかったです」

彼女いるとかそれぐらい。

カメ「そうですね。彼女いるくらいですね。」

そんなもんじゃん。

カメ「はい」

自分から探さない限りは、モテる友人は、
よほど運が良くない限りなかなかいないものです。

幼少期、学生時代、社会人の中で
女性の口説き方、コミュニケーションの取り方を
教わってこなかったのだから仕方がない。

また、もう一つ言いたい事としては

「あなたが自身が自分に下す評価」

「他人から見たあなたの評価」

は違うわけですよ。

「才能があるか」

「出来るか出来ないか」

ってというのは自分で勝手に自分で思ってるだけ。

自分で「自己評価」してるだけで

「他人からの評価」というのは

また違ったりするわけ。

※逆に自分自身の実力や才能を

「過大評価」してしまう人もたくさんいます。

こういう非現実的な思い込みを

「バイアス」と呼んだりします。

3年でも必死にやれば誰でも出来るんだよね。

3年って長いと感じるかもしれないけど、

例えば3ヵ月でも集中的に一つのことに挑めば

何かしらの良い成果が生まれるんだよ。

ここに関しては自分の気持ち次第なんだよ。
極端な話で言えばね。

例えば「ノウハウを再現出来るか」という話を
した時に「モテる方法」だったり「彼女作る」
とか「ナンパ」に関してもそうだけど、

例えば、僕がカメさんとか、
他のコンサルを受けてくれてる人とか
も同じなんだけど

「ここを変えたら上手く行くよ！」

ってアドバイスしても、
9割以上のほとんどの人はやらないんだよね。

「実践して行動に移す前に
俺には出来ないっす」

みたいに最初から諦めている。

「具体的にココとココとココ変えたらいいよ」

って初心者でも取り組めるレベルにまで
落とし込んで教えているのにね。

この実践に関しては本人次第っていうか。

もちろん、その中で、

「アドバイスした内容を実践する人」
っていうのは上手くいくようになっていく。

「あなた自身が見えてる世界」

と

**「僕とか結果を出してきた部活の先輩みたいな
経験値のある人が見えている世界」**

というのは視点が違うわけだよね。

あなたには「能力」っていうのは必ずあるからそれを引き出すのが僕らの仕事なんですけど。

こうすればいいのっていう話を「レシピ通り」にやったらいいと思うんですよね。

だから、

あなたにも、カメさんにも可能性とか希望とか夢とか必ずあるんです。

ジゴロパンダにアドバイス受けたことをやったらいつも上手くいくしょ？

カメ「そうですね」

カメさんって「なんでやらないの？」って

いうくらいやらないじゃん。

一応、やるんだけど、言われてから
一年後にようやくアドバイスを実行するとか
どんだけ腰が重いんだ、みたいな(笑)

カメ「そうですね。気持ち弱いんだなと」

あんだけ言ってるのに
なんで一年後にやるのみたいなのが謎(笑)

カメ「ずっと言われ続けてっていう」

ようやく、一年たってようやく腰が動くみたいな。

でも、アドバイスを実行すると成果出るでしょ？

カメ「やったら成果出るんですよ」

そういうもんなんだよ。

いきなりは信じられないかもしれないんで

「最初はお試しとして3ヵ月だけやってみよう！」

ていうみたいに期限を区切って

やってみたらいいと思うんですよね。

女性関係であれば、1年もしたら

「彼女作るのなんて余裕」

みたいに自信満々に思えるくらいの

レベルにはなっているもんなんです。

この程度の未来であれば「必ず」って

言えるレベルで提供してあげることが出来ます。

**自分で自分の可能性をシャットダウンしないで
欲しいんですよね。**

もちろん、僕もあなた、カメさんを応援したり
信じたりは出来ますけど、

結局のところ一番大事なのって、

**「あなたがあなたの可能性を
信じられるかどうか」**

だから。

試しにで良いから、
やってみて欲しいんですよ。

「3ヵ月だけ」で良いから。

絶対にやってはいけないのは、

**「あの時ああしてれば良かったなとか
あの時に戻りたいなとか」**

ってなってしまうことですね。

そうやらない為には

「今動くしかない」
と思うんですよ。

1年後とか、10年後とかじゃなくて
今やるべきだと思うんですよね。

最大限の努力をしていくっていうことをね。

それが、

「後悔しない最適な道」というか、
それしか選択肢はないと思うんでね。

カメさんクロノトリガーってやったことある？

カメ「やったことはない」

けっこう昔のゲームなんですけど、
誰だったかなファイナルファンタジーと
ドラゴンクエストのプロデューサーが組んで、

鳥山明がキャラを描いたり、
キャラ設定をしたっていう。
結構当時話題だった作品なんですけど。



《クロノトリガー》

その中のキャラの1人が言ってる事なんですけど。

**「結果を求めて行動するのではない。
行動するから結果がついてくる。」**

っていう風に言ってるんですけど。

「結果が欲しいな」って言って
そのためにどうしたいいだろうな、
じゃなくて、

最初の一步を踏み出すためには、

**「とりあえず行動すれば
失敗した結果も出てくるし、
成功した結果も出てくる」**

わけじゃん。

※行動し始めて、行動が当たり前になった後には
計画性、行動の修正、分析や検証、
などが必要になってきます

特に最初の段階では行動するには **「勢い」**
みたいなものも大事になってくるんですよ。

計画を立てるとか、プランを立てるとか、改善策を立てる、ってのも大事ですけどまず行動しないと話にならない。

例えば、戦争中だったり、原始時代とかであれば「行動したら死ぬかもしれない」というリスクと隣合わせだったと思うんですけど、

特に今の日本の場合って、大胆な行動を取っても死ぬことは滅多にないし。

**リスクは常にローコストっていうかさ
低リスクな訳なんだから、
まずはやってみたらいいと思うんですよ。**

やってみて、結果が出ないなら出ないで、そこで「改善策」考えたりしたらイイですよ。

※ 「失敗する結果」を出せたら、
「何が原因で失敗したのか？」が見えるので

それは一歩前進です。ちなみに、失敗した原因を考えないで行動し続けるのは無意味なので注意してください。

まずは行動して結果を出してみる。

当然「上手くいく結果」をみんな求めると思うんだけど、最初は基本9割上手くいかない。

仕事でも何でも、どういうジャンルに挑んだとしても、そういうもんだから。

地道にやってくしかないっていうのはあるんですけどね。

「成功はグラデーション」って事でいきなり白を見るんじゃなくてグレーだということを理解すること。

最初のスタートが「黒」だとして、

そこから白に行くにしても、
濃いグレーから薄いグレーになり、
最終的に白になるわけじゃん。

《黒と白のグラデーション》

そういう風にどんどん色って変わっていくわけ
なんで、いきなり100を目指さないで、
「最初の0から1を目指していく」って事から
始めた方がいいんじゃないかなと思います。

そうやって、一步一步小っちゃく段階を
区切っていけば

「あ、これ出来るようになった
これも出来た！これも出来た！」

と気づいたらすごい大きな成果になってたり
するもんなんです。

いきなり大きな結果を求めて

「ああ、とても俺なんかには出来ない…」
って落ち込むパターンに入らないこと。

いきなり大きな結果を求めると、
全く近づけないので辛くて諦めたくなると思う。

そうじゃなくて
小さい一歩を歩いていけば気づいたら、
0が100になってたりとかするもんなんです。

そういう考え方で、目標達成に向けて、
日々実行していけばいいんじゃないかなと

思います。

参考にして下さい。

それでは今日も一日楽しんでいきましょう！！

ジゴロパンダ